

トマトの樹文化祭特集

こんにちは。暑かった夏もようやく過ぎ去り、秋の気配を感じる季節となりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

秋といえば読書・食欲・スポーツなどさまざまですが、トマトの樹にとっての秋は「ずばり『芸術の秋』です！」

◆初の試み「地域交流会 トマトの樹文化祭開催！」

去る10月14日午後2時より、「地域交流会 トマトの樹文化祭」が開催されました。

これまで夏には「地域交流会 納涼祭」を行っておりましたが、新型コロナウイルスの影響により長らく中断。その後も再開には至らずにいました。

しかし地域の皆さまやゲストの方々から「ぜひ復活を！」との声を多数いただき、有志スタッフを中心に7月から検討を重ねてきました。酷暑の中での開催は難しいとの判断から、今年は趣向を変え、過ごしやすい10月に「文化祭」として復活の運びとなりました。



◆準備から開幕まで

9月初旬より各事業所で準備を開始。前日にはゲストの皆さまによる力作の展示や案内掲示の設置など、着々と会場づくりが進みました。

当日は「地域交流会 会場」にてイベントを開催。開始直前までスタッフが汗を流し、開演30分前によりよく準備完了ーいよいよ待ちに待った開幕です。



◆合唱祭「トマト」2025

午後2時、木村施設長の挨拶で幕を開けた文化祭。トップを飾ったのは、ゲスト全員による合唱祭です。曲目は「むすんでひらいて」「キラキラ星」「どんぐりころころ」（メロディーはなんと水戸黄門ー）

「思い出のアルバム」の4曲。

「思い出のアルバム」では、保育園の先生として活躍されたデイサービスゲストK様がピアノ演奏を担当。歌声に包まれた会場は温かい拍手で満たされました。

歌の練習を重ねてきたゲストの皆さま、演奏を担当してくださったK様、本当にありがとうございました。

続いて行われたのは、ファッションショー「トマト2025」！

グループホーム2名、小規模多機能2名、デイサ

ービス7名の計11名が出場し、個性あふれる衣装でステージをウォーキング。観客の声援を受けながら堂々とランウェイを歩く姿に、会場は歓声と笑顔で包まれました。

審査員には地域包括支援センターより4名様をお迎えし、温かい講評をいただきました。最後に出演者とK様へメダルが授与され、拍手の中で 幕を閉じました。

◆館内では作品展と介護相談会

ステージと並行して、館内では各事業所の作品展示会を開催。

グループホームでは赤・緑ユニットそれぞれで模造紙に描いた大作を、小規模多機能ではコスモスの切り絵を、デイサービスでは塗り絵や書道、貼り絵など多彩な作品を展示しました。

普段は交流の少ない他部署のゲスト同士が互いの作品を鑑賞し、感心したり笑顔を交わす様子も見られました。



また、玄関ホールではケアプランセンター田中ケアマネによる「介護相談会」も同時開催し、地域の方々からの相談にも対応しました。

午後3時の中締め後、館内では有志スタッフ7名

とグループホームゲストY様による「正調よこい鳴子踊り」を披露。

鳴子の音が響く中、踊り子たちが館内を練り歩くと、会場は再び大きな拍手に包まれました。

こうしてトマトの樹文化祭は大盛況のうちに幕を閉じました。展示作品は翌日まで公開され、多くの方にご覧いただきました。

◆感謝とこれから

ご来場くださった地域の皆さま、ご協力いただいたゲスト・ご家族・関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

10月としては気温の高い一日でしたが、体調を崩された方もおらず、スタッフ一同ほっと胸をなでおろしました。

また当日実施したアンケート結果をもとに反省会を開き、今後の地域交流イベントへとつなげてまいります。

次回の地域交流会は12月に「クリスマス会」を予定しています。詳細は当施設ホームページにてお知らせいたしますので、どうぞお楽しみに！

次回も皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

☆☆編集後記☆☆

今年の文化祭は、例年以上に“つながり”を感じた時間でした。

作品づくりや出し物の練習を通して、一人ひとりの個性と優しさが輝いていました。

紙面に載せきれない素敵な瞬間が、まだまだたくさんあります。

この新聞が、皆さんの思い出の1ページになれば幸いです。

編集長 古田

発行：地域交流広場トマトの樹 広報編集部